

教育文化部会 会議録

（出席者） 委員：9名
事務局：4名（戦略部会員：3名、政策推進課：1名）
アドバイザー：1名
ファシリテーター：1名

（会議の内容）

1. はじめに

資料1に基づき、ふり返しシートの質問について事務局から説明しました。

資料2に基づき、第2回まちづくり市民会議（第1回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

2. 今後の検討スケジュールについて

資料3に基づき、今後の検討内容とスケジュールについて事務局から説明しました。

3. 総合計画の人口フレームについて

資料4に基づき、総合計画の人口フレームの方向性について確認を行いました。

4. 戦略プロジェクトについて

資料5に基づき、戦略プロジェクトについて意見交換を行いました。（意見交換の内容は次ページ以降に掲載。）

5. 市民評価について

会場を講堂に移し、「図書館運営事業」について市民評価を行いました。（市民評価の判定結果は次ページ以降に掲載。）

6. アドバイザー総括（加島アドバイザー）

視察もしているので、いい図書館だとわかった上での評価があった。3つの図書館の中でも利用率に差があるなど、今後ニーズを把握する必要があると思った。これだけ利用に差が出るということは、機能の分化を考えていく必要もあるのではないかと。

7. その他

次回開催日程は、4月19日（木）18：45からに決定しました（その後調整により4月20日に変更）。各委員に、ふり返しシート、市民評価アンケートを配布しました。3月2日を期限に、後日、提出をお願いしました。

主な意見（教育文化部会）

項目	現状・課題
人口について	<p>(委員) 資料4について、平成22年からの減少人口が抑制率0%で6,007と出ているが、抑制率25%のところでは1,451と4,557を合わせて6,008になる。修正した方がいい。</p> <p>[事務局] 端数処理の関係によるものなので、修正する。</p> <p>(委員) 各部会が人口の問題を頭の中に入れていないと政策等が考えられない。そういったことに気づくための大きなテーマである。今までの総合計画では、人口を踏まえて目的意識を築き上げることがなかったので、今回は考えやすい設定になっている。</p>
戦略プロジェクトについて	<p>(委員) 個々人の関心・興味や、所属する団体があり、1つに決めるのは難しい。事務局が決めてくれれば良いと思う。</p> <p>(委員) 私は「元気はいたつ便」を選んだ。事業は、やる気のある人でなければ参加しないと思うが、市民の中にやる気のある人がどれだけいるかわからない。ボランティアを小中学生に義務化してやらせてみれば、良い体験になり、本を読むきっかけにもなると思う。</p> <p>(委員) さきほど出た意見と同じく、組織としてどう関わるかを念頭に選んだ。図書館はもっと専門的な機関として、レベルを高めるべきことがあると思うので、「元気はいたつ便」に図書館職員の時間をとられるのはどうかと思う。</p> <p>(委員) 図書館の本来の業務をスリム化し、委託でいいのではないかという意見は多い。しかし、「元気はいたつ便」で図書館の可能性を増やしていく方向性を打ち出したことは画期的であったと思う。ただ、義務化は難しい。必要だという気持ちがないと浸透しない。文化財も必要だが、住んでいる人の意識を高める必要がある。出された3つの事業は連鎖しており、3つ全部進めても構わないと思う。</p> <p>(委員) 偶然であるが、今日は子どもの介護施設訪問日だった。最初は戸惑ったようだが、ふれあうことで見方が変わったと言っていた。今、高齢者と子どもが一緒に住むことがなくなっているので、このようなことをきっかけとし、子どもの価値観や考え方が変わっていかばいいと思った。誰でもできるものは「元気はいたつ便」ではないか。</p> <p>(委員) かねてから文化財の保護をやってきたが、田原市の文化や歴史を知らない人が多すぎる。文化財保護というよりも、知ってもらうための方法がないかと考えている。</p> <p>(委員) 所属団体の立場では、ここなら関わるができると思う。</p> <p>(委員) 「元気はいたつ便」よりも、図書館の運営に興味がある。田原</p>

	<p>の図書館は、類を見ないくらい素晴らしいということである。</p> <p>(アドバイザー) 個人的には、生涯学習が壮大な計画として面白いと思った。生涯学習には、単純に一方から一方へ与えられるものではなく、お互いが学び合うという側面がある。しかし、学びたいものと教えたいもののミスマッチがあったり、自分で教えようという人がなかなかいなかったり、課題が多く、持続可能性に関しても難しいかもしれない。そのため、「元気はいたつ便」がいいかと思う。入りやすさ、続けやすさ、年齢を超えた交流という効果を期待しても面白いと思う。</p> <p>[事務局] 1つに絞って、後2つはやらないというものではない。いずれ教育文化部会で出てくるものだと思うので、ご承知いただきたい。</p>
--	---

市民評価（教育文化部会）

≪評価対象事業名≫ ： 図書館運営事業
≪事業の方向性に対する判定結果≫
拡充：2名 一部改善：1名
≪今後の事業実施に関する意見、改善点等の提案等≫
<p><拡充></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民利用者と手を携えての充実を。正職員10名、嘱託員20名という体制で、十分なサービスができるのか？について説明が足りなかったと思う。 ・図書館のPR促進で利用率が上がると良い。 <p><一部改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館と学校図書館の関わりの中で学校図書館への影響が懸念される。今後は移動図書館の学校以外へのサービスも考えて欲しい（小回りのきく図書館サービス）。